



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

自衛隊5Days インターンシップを終えて

群馬大学3年生 園田圭悟

令和6年8月26日から30日の間、自衛隊5Daysインターンシップに参加しました。このインターンシップ中に体験したことは非常に刺激的であり、将来、自衛隊への入隊を考えている私にとつて、とても有意義な5日間だったと感じています。

陸上、海上、航空の各駐屯地・基地の見学では、知らなかったことや、想像していたことと違うことがたくさんあり、とても新鮮な気持ちで見学することができました。特に、ひとつの駐屯地・基地の中にも役職が複数個あることに驚き、各役職でそれぞれプロフェッショナルがいることもわかりました。駐屯地・基地で働く隊員の方からは自衛隊の「リアル」を聞くことができ、仕事の内容、やりがい、また私生活について聞いたことで自分の中の自衛隊の解像度が上がったように感じました。

インターンシップ後半では、自衛隊が今実際に抱えている問題である「人手不足」について他のメンバーとともに議論を行い、問題の解決に向けてどのような取り組みが必要かを考えました。ここで印象的だったのは、自衛隊についてあまり知らなかったメンバーの一人が、駐屯地・基地見学によって自衛隊の印象が変わり興味を持ったことです。このようにきっかけがあれば魅力は十分に伝わり、興味を持ってもらえること分かります。そのことを軸に議論を展開することができました。

今回のインターンシップでは、本やインターネットからだけではわからない自衛隊の「リアル」を見て、触れることができ、自分が入隊した時のイメージがよりしやすくなりました。最後になりましたが、今回のインターンシップを企画してくださった自衛隊群馬地方協力本部の皆様、また見学先の各駐屯地・基地の皆様から感謝申し上げます。



右から3人目園田さん

「水辺で遊ぼう」イベントで自衛隊をPR

1等海尉 谷本 明

自衛隊群馬地方協力本部太田出張所(所長・1等海尉谷本 明)は9月8日(日)、桐生市の渡良瀬川松原橋公園で開催された「第15回水辺で遊ぼう」に募集・広報ブースを出展した。

本イベントは、「川づくりネットワークきりゆう」が主催し、渡良瀬川の水辺の自然を体感することができるカヌー体験や秋の昆虫植物観察ツアーなど様々な催し物が行われ、厳しい残暑の中多くの親子連れで賑わった。当日は、相馬原駐屯地から第12高射特科隊の支援を受けて小型トラックの車両展示や制服試着、また、群馬地本オリジナルキャラクター「GUNMARINちゃん」アクリルスタンドなど他では絶対に手に入らない限定自衛隊グッズが当たる無料ガチャガチャも実施した。

来場者からは、自衛隊の制服の実物を初めて見ることでできてよかったです」「アクリルスタンドが当たってラッキーでした」などの声が寄せられ、親子連れから好評を博した。

太田所は、今後も地域に密着した広報活動を実施することにより自衛隊の魅力を知りていくとともに、活動への理解と関心を深めていく。

